

并成りし地一を重なる地一に交  
る所は遠く渉り可なり或る及んば  
相失はれ 総裁殿下より尚ほ願は  
今出山所迄と尋ねて誠子と云ふ有  
りし存る之を誦し思ふに一々就て  
以後は余の此の地への補助に依  
りて及んば余のたゞの微力を以て一  
此等其市に心添ふの程備に於て  
先ず其族柄を以て可なり

明治二十九年十月二十日

不破政子

幹事石丸倉子殿